

令和7年度 さいたま市立与野南中学校 学校だより



みなみかぜ

南風

第 1 1 号

令和8年 2月 25日発行

<http://yonominami-j.saitama-city.ed.jp>

＜学校教育目標＞ 進んで学ぶ生徒 心豊かな生徒 心身共に健康な生徒

勝色の巣から自分の青い翼で羽ばたいて

校長 正田 真由美

2月のある日、3年生の女子が校長室のドアをノックしました。
「校長先生、面接練習ありがとうございました。終わりました。」
「本番は、どうだった？ うまく答えられた？」
「大丈夫でした。8割ぐらい、面接練習と同じ質問でした。合格しました！」
「受かってよかった！！ 頑張ってたね。」
別の日、3年生の男子が校長室のドアをノックしました。
「校長先生、見て、見て。受かりました！ 面接練習ありがとうございました。」
「よかった！ すごいね、合格通知じゃない！ 担任の先生には見せたの？」
「ありがとうございます。まだ、見せていない。」
「見せてあげて、喜ぶよ。3学期も頑張ろうね。」
また別の日、3年生の男女が校長室のドアをノックしました。
「校長先生、学校推薦ありがとうございました。受かりました！」
「2人とも受かって、よかったね！ おめでとう！ 頑張ったね。」

この3年生達との会話のやり取りで、忙しかった私の心が温くなりました。自分で決めて受験をしたけれど、結果が出るまでは、どの子もドキドキしていたのでしょう。私と面接練習をした時もドキドキと緊張感いっぱいでしたが、本番の試験はもっと緊張したのだと思います。私とは、面接練習というほんの少しの時間しか関わらなかったのですが、「ありがとうございます。」と自分から言葉にできることはステキなことです。人に対して「ありがとうございます」と素直な気持ちで伝えられることは、容易なようであってそうでもないのです。この3年生たちのステキな行動に成長を感じ、校長室を後にする後姿にそれぞれの持つ青色の輝きが濃くなったように私には感じました。

もうすぐ3月、この1年間、与野南中学校を引っ張ってくれた3年生が卒業する時期となってしまいました。2月の全校揃っての朝礼では、この1年間、行事や委員会、部活動の取組で、3年生が前向きに取り組む、頑張る姿をたくさん見せてくれたことに全校生徒の拍手で称えました。これまでの取り組む姿は、1、2年生の後輩たちにも伝わり、各学年の力を発揮する原動力になったと思います。私は、本当に様々な場面で頑張ってくれたことに感謝しています。今年度、全員で取り組む大きな行事は、3月13日の卒業式のみになりました。3年生が与野南中学校を後にし、自分で決めた新しい道へのスタートラインへと立つ、節目の行事です。そして、卒業式当日は、3年生のみなさんが最後に後輩に見せる、この1年間の中で1番カッコイイ、そしてステキな姿、それぞれの青い翼を持って、勝色の巣を飛び立つ後姿に期待しています。

保護者並びに地域の皆様へ

1年間、本校の教育活動にご理解とご協力を頂きまして、心より感謝申し上げます。来年度も今年度以上に教育活動に取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。